

# 清掃業務共通仕様書

## 第1章 一般事項

### 1. 1 一般事項

#### 1 清掃業務の範囲

- (1) 家具、什器等（椅子等軽微なものを除く）の移動は、特記がない限り別途協議するものとする。
- (2) 次にかかげる部分の清掃は、特記がない限り省略できるものとする。
  - ア ロッカー、家具等があり、清掃不可能な部分
  - イ 電気が通電されている部分又は運転中の機器が近くにある等、清掃が極めて危険な部分

#### 2 臨時の措置

臨時に新たに清掃が必要になったときは、その旨を施設管理担当者に報告し指示を受けること。

#### 3 清掃業務の確認

清掃業務終了後は、施設管理担当者に報告し、作業点検表（別紙様式第3号）により確認を受けること。

#### 4 資機材等の保管

使用する資機材及び衛生消耗品は、施設管理担当者より指示された場所に整理し保管すること。

#### 5 清掃に伴う注意事項

- (1) 使用する資機材は、品質が良好で、清潔かつ最適なものを使用するものとする。
  - また、清掃場所に応じたものを使用すること。
- (2) 貸与された使用機材は機能が適したものであることを確認すること。

### 1. 2 用語

#### 1 日常清掃

日常清掃とは、日単位等の短い周期で日常的に行う清掃作業をいう。

#### 2 定期清掃

定期清掃とは、月単位、年単位の長い周期で定期的に行う清掃作業をいう。

#### 3 追加清掃

追加清掃とは、日1回の日常清掃後、特記により行う2回以降の補足的な清掃業務をいう。

#### 4 資機材

資機材とは、次のような資材、機材をいう。

- (1) 資材・・・洗浄用洗剤、剥離洗剤、樹脂床維持剤、パット、タオル等
- (2) 機材・・・自在箒、フロアダスタ、真空掃除機、床磨き機等

#### 5 衛生消耗品

衛生消耗品とは、トイレトペーパー、水石鹼等をいう。

#### 6 床仕上げ

床仕上げを、次のように分類する。

- (1) 弾性床・・・ビニール床タイル、ビニール床シート、ゴム床タイル等
- (2) 硬質床・・・陶磁器質タイル、石、コンクリート、モルタル等
- (3) 繊維床・・・カーペット、じゅうたん等
- (4) 畳床・・・タタミ等

## 第2章 建物内部の清掃

### 2. 1 床の清掃

#### 1 弾性床

清掃作業の内容は2. 1. 1表による。

2. 1. 1表 弾性床の清掃作業

作業項目	作業内容
1. 除塵	
1.1 自在箒又はフロアダスタによる除塵	自在箒、フロアダスタ（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。
1.2 真空掃除機による除塵	真空掃除機で丁寧に吸塵する。
2. 水拭き	
2.1 部分水拭き	汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
2.2 全面水拭き	床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
3. 補修	人通りの多い床面を、パットを装着した床磨き機で研磨する。
3.1 空バフイング	1 汚れた部分に、水又は専用補修液をスプレーし、パットを装着した床磨き機で乾燥するまで研磨する。汚れが強い場合は、適正に希釈した表面洗剤を用いる。
3.2 スプレーバフイング（スプレークリーニング）	2 削り取られたかすを取り除き、スプレーバフイングを行った箇所をきれいに拭いた後、樹脂床維持剤を塗布して補修する。
4. 洗淨	
4.1 表面洗淨	<p>1 椅子等軽微な什器の移動を行う。</p> <p>2 床面の除塵を行う。除塵作業は「1. 除塵1.1」又は「1. 除塵1.2」により行う。</p> <p>3 適正に希釈した表面洗淨用洗剤をモップでむらのないように塗布する。</p> <p>4 洗淨用パットを装着した床磨き機で皮膜表面の汚れを洗淨する。</p> <p>5 吸水用真空掃除機又は、床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>6 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は、「2. 水拭き2.2」により行う。</p> <p>7 樹脂床維持剤を、塗り残しやむらのないように塗布し、十分に乾燥した後、塗り重ねる。</p> <p>8 樹脂床維持剤の塗布回数は特記による。特記のない場合は2回とし、皮膜の損傷が著しい場合は、さらに1回塗り重ねる。</p> <p>9 移動した椅子等軽微な什器を元の位置に戻す。</p>
4.2 剥離洗淨	<p>1 床面の除塵を行う。除塵作業は「1. 除塵1.1」又は「1. 除塵1.2」により行う。</p> <p>2 適正に希釈した剥離洗剤をモップでむらのないように塗布する。</p> <p>3 剥離用パットを装着した床磨き機で洗淨する。</p> <p>4 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>5 剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は再度剥離作業を行う。</p> <p>6 水まき、床磨き機で洗淨する。</p> <p>7 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>8 3回以上水拭きを行って、汚水や剥離剤を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水抜き作業は「2. 水抜き2.2」により行う。</p> <p>9 樹脂床維持剤をモップで、塗り残しや塗りむらのないように塗布し、十分に乾燥した後、塗り重ねる。</p> <p>10 樹脂床維持剤の塗布回数は特記による。特記のない場合は3回とする。</p>

## 2 硬質床

清掃作業の内容は2. 1. 2表による。

2. 1. 2表 硬質床の清掃作業

作業項目	作業内容
1. 除塵 1.1 自在箒又はフロアダスタによる除塵 1.2 真空掃除機による除塵	自在箒、フロアダスタ（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 真空掃除機で丁寧に吸塵する。
2. 水拭き 2.1 部分水拭き 2.2 全面水拭き	汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
3. 補修 3.1 空バフイング	人通りの多い床面を、パットを装着した床磨き機で研磨する。
4. 洗浄	1 椅子等軽微な什器の移動を行う。 2 床面の除塵を行う。除塵作業は「1. 除塵1.1」又は「1. 除塵1.2」により行う。 3 床面を十分にぬらした後、適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。 4 洗浄用パット又は洗浄用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗浄する。 5 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。 6 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は、「2. 水拭き2.2」により行う。 7 移動した椅子等軽微な什器を元の位置に戻す。

## 3 繊維床

清掃作業の内容は2. 1. 3表による。

2. 1. 3表 繊維床の清掃作業

作業項目	作業内容
1. 除塵 1.1 真空掃除機による除塵 1.2 カーペットスィーパーによる除塵	真空掃除機で丁寧に吸塵する。 床表面の粗ゴミをカーペットスィーパーで回収して除塵する。
2. しみ取り	水溶性、油性などしみの性質と繊維素材に適したしみ取り剤を用いてしみを取る。方法は特記による。
3. 補修 (スポットクリーニング)	除塵作業だけでは除去できない汚れの著しい区域について、部分的なクリーニングを行う。方法は特記による。
4. 洗浄 (全面クリーニング)	カーペット床全面を洗浄し、丁寧に汚れを除去する。方法は特記による。

#### 4 畳床

清掃作業の内容は2. 1. 4表による。

2. 1. 4表 畳床の清掃作業

作業項目	作業内容
1. 除塵 1.1 自在箒 1.2真空掃除機による除塵 2. 表面洗淨	自在箒で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 真空掃除機で丁寧に吸塵する。 1 椅子等軽微な什器の移動を行う。 2 床面の除塵を行う。除塵作業は「1. 除塵1.1」又は「1. 除塵1.2」により行う。 3 汚れの目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。 4 移動した椅子等軽微な什器を元の位置に戻す。

#### 2. 2 場所別の清掃

##### 1 玄関ホール

清掃作業の内容は2. 2. 1表による。

2. 2. 1表 玄関ホールの清掃作業

作業対象	作業項目	作業内容	
床の清掃 弾性床 硬質床 繊維床	2.1.1 表による。 2.1.2 表による。 2.1.3 表による。		
床以外 の 清 掃	壁	1 部分拭き 2 除塵 3 部分洗淨	汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。 固着した部分的汚れを専用洗剤等を用いて洗淨する。
	フロアマット	1 除塵 2 洗淨	真空掃除機で吸塵する。 洗剤や水を用いて洗淨し、土砂や汚れを取り除く。 洗剤を用いる場合は、よくすすいだ後、十分に乾燥させる。
	扉ガラス	1 部分拭き 2 全面洗淨	汚れの目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。 ガラス全面に水又は専用洗剤を塗り、窓用スクイージーで汚れを取る。
	什器備品	1 除塵 2 拭き	タオル、ダストクロス等で埃を取る。 タオルで水拭きする。
	ごみ箱 金属部分	ごみ収集 1 除塵 2 磨き	ごみを収集し、容器を拭く。 タオル、ダストクロス等で埃を取る。 専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
	照明器具	拭き	洗剤（中性あるいは弱アルカリ性）を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は溶剤で拭き取り、水拭きする。
吹出口及び 吸込口	洗淨	1 吹出口、吸込口下の床面を養生する。 2 吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 3 吹出口、吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	
追加 清 掃	床 扉ガラス ごみ箱 フロアマット	部分水拭き 部分拭き ごみ収集 除塵	汚れた水滴などが付着した部分をモップで拭く。 汚れた部分をタオルで水拭き又は空拭きする。 ごみ箱を点検し、ごみを収集する。 汚れた部分を真空掃除機で除塵する。

## 2 事務室・監視室

清掃作業の内容は2. 2. 2表による。

2. 2. 2表 事務室・監視室の清掃作業

作業対象		作業項目	作業内容
床の清掃	弾性床	2.1.1 表による。	
	繊維床	2.1.3 表による。	
床以外の清掃	ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器を拭く。
	照明器具	拭き	洗剤（中性あるいは弱アルカリ性）を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は溶剤で拭き取り、水拭きする。
	吹出口及び吸込口	洗淨	1 吹出口、吸込口下の床面を養生する。 2 吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 3 吹出口、吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。

## 3 会議室・水質分析室

清掃作業の内容は2. 2. 3表による。

2. 2. 3表 会議室・水質分析室の清掃作業

作業対象		作業項目	作業内容
床の清掃	弾性床	2.1.1 表による。	
	繊維床	2.1.3 表による。	
床以外の清掃	ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器を拭く。
	什器備品	1 除塵 2 拭き	タオル、ダストクロス等で埃を取る。 タオルで水拭きする。
	窓台	1 除塵 2 拭き	タオル、ダストクロス等で埃を取る。 タオルで水拭き又は洗剤拭きする。
	照明器具	拭き	洗剤（中性あるいは弱アルカリ性）を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は溶剤で拭き取り、水拭きする。
	吹出口及び吸込口	洗淨	1 吹出口、吸込口下の床面を養生する。 2 吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 3 吹出口、吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。

#### 4 廊下

清掃作業の内容は2. 2. 4表による。

2. 2. 4表 廊下の清掃作業

作業対象		作業項目	作業内容
床の清掃	弾性床 硬質床 繊維床	2.1.1 表による。 2.1.2 表による。 2.1.3 表による。	
床以外の清掃	壁	1 部分拭き 2 除塵 3 部分洗浄	汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。 固着した部分的汚れを専用洗剤等を用いて洗浄する。
	ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器を拭く。
	扉	1 部分拭き 2 部分洗浄	1 汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 2 固着した部分的汚れを、専用洗浄等を用いて洗浄する。
	照明器具	拭き	洗剤（中性あるいは弱アルカリ性）を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は溶剤で拭き取り、水拭きする。
	吹出口及び吸込口	洗浄	1 吹出口、吸込口下の床面を養生する。 2 吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 3 吹出口、吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。
追加清掃	床 ごみ箱	部分拭き ごみ収集	汚れた水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ごみを収集し、容器を拭く。

#### 5 便所、脱衣室・シャワー室

清掃作業の内容は2. 2. 5表による。

2. 2. 5表 便所、脱衣室・シャワー室の清掃作業

作業対象		作業項目	作業内容
床の清掃	弾性床 硬質床	2.1.1 表による。 2.1.2 表による。	

床以外の清掃	壁	1 部分拭き 2 除塵 3 部分洗浄	汚れた部分を、水又は専用洗剤を用いて拭く。 鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。 固着した部分的汚れを専用洗剤等を用いて洗浄する。
	扉及び便所へだて	1 部分拭き 2 全面洗浄	汚れた部分を、水又は専用洗剤を用いて拭く。 全面を、専用洗剤を用いて洗浄する。
	ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器を拭く。
	洗面台	拭き	スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	鏡	拭き	乾拭きして仕上げる。
床以外の清掃	衛生陶器	洗浄	専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同じに金属類も拭きあげる。
	衛生消耗品	補充	トイレットペーパーや水石鹼等を補充する。
	汚物容器	汚物収集	内容物を収集し、容器を洗浄する。
追加清掃	床 ごみ箱 洗面台 鏡 衛生陶器 衛生消耗品 汚物容器	部分水拭き ごみ収集 拭き 拭き 洗浄 補充 汚物収集	汚れた水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ごみを収集し、容器を拭く。 汚れた部分を拭く。 汚れた部分を拭く。 汚れた部分を洗浄し拭く。 トイレットペーパーや水石鹼等を補充する。 内容物を処理する。

※ 便所、脱衣室・シャワー室の資機材は他と区別して、専用のものを用いる。

## 6 湯沸かし室

清掃作業の内容は2. 2. 6表による。

2. 2. 6表 湯沸室の清掃作業

作業対象	作業項目	作業内容
床の清掃 弾性床 硬質床	2.1.1 表による。 2.1.2 表による。	

床以外の清掃	壁	1 部分拭き 2 除塵 3 部分洗浄	汚れた部分を、水又は専用洗剤を用いて拭く。 鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。 固着した部分的汚れを専用洗剤等を用いて洗浄する。
	扉	1 部分拭き 2 全面洗浄	汚れた部分を、水又は専用洗剤を用いて拭く。 全面を、専用洗剤を用いて洗浄する。
	流し台	洗浄	中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。
	厨芥容器	厨芥収集	1 厨芥を収集する。 2 容器を中性洗剤で洗浄する。
	換気扇	洗浄	中性洗剤洗浄し、水拭きして仕上げる。
	照明器具	拭き	洗剤（中性あるいは弱アルカリ性）を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は溶剤で拭き取り、水拭きする。
	吹出口及び吸込口	洗浄	1 吹出口、吸込口下の床面を養生する。 2 吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 3 吹出口、吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。
追加清掃	床	部分水拭き	汚れた水滴などが付着した部分をモップで拭く。

## 7 階段

清掃作業の内容は2. 2. 7表による。

2. 2. 7表 階段の清掃作業

作業対象	作業項目	作業内容	
床の清掃	2.1.1 表による。 2.1.2 表による。 2.1.3 表による。		
床以外の清掃	壁	1 部分拭き 2 除塵 3 部分洗浄	汚れた部分を、水又は専用洗剤を用いて拭く。 鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。 固着した部分的汚れを専用洗剤等を用いて洗浄する。
	手摺り	1 拭き 2 洗浄	タオルで水拭きする。 汚れた部分を洗剤で洗浄し水拭きする。
	窓台	1 除塵 2 拭き	タオル、ダストクロス等で埃を取る。 タオルで水拭き又は洗剤拭きする。
	照明器具	拭き	洗剤（中性あるいは弱アルカリ性）を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は溶剤で拭き取り、水拭きする。
	吹出口及び吸込口	洗浄	1 吹出口、吸込口下の床面を養生する。 2 吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 3 吹出口、吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。

## 8 休憩室・更衣室

清掃作業の内容は2. 2. 8表による。

2. 2. 8表 休憩室・更衣室の清掃作業

作業対象		作業項目	作業内容
床の清掃	弾性床 硬質床 繊維床 畳床	2.1.1 表による。 2.1.2 表による。 2.1.3 表による。 2.1.4 表による。	
床以外の清掃	壁	1 部分拭き 2 除塵 3 部分洗浄	汚れた部分を、水又は専用洗剤を用いて拭く。 鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。 固着した部分的汚れを専用洗剤等を用いて洗浄する。
	ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器を拭く。
	洗面台	拭き	スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	鏡	拭き	乾拭きして仕上げる。
	衛生消耗品	補充	水石鹼を補充する。
	手摺り 窓台	1 拭き 2 洗浄  1 除塵 2 拭き	タオルで水拭きする。 汚れた部分を洗剤で洗浄し水拭きする。  タオル、ダストクロス等で埃を取る。 タオルで水拭き又は洗剤拭きする。
床以外の清掃	照明器具	拭き	洗剤（中性あるいは弱アルカリ性）を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は溶剤で拭き取り、水拭きする。
	吹出口及び吸込口	洗浄	1 吹出口、吸込口下の床面を養生する。 2 吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 3 吹出口、吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。

## 9 エレベーター

清掃作業の内容は2. 2. 9表による。

2. 2. 9表 エレベーターの清掃作業

作業対象		作業項目	作業内容
床の清掃	弾性床	2.1.1 表による。	
床以外の清掃	壁・扉・操作盤	部分拭き	汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。
	扉溝	除塵	真空掃除機で吸塵する。

追加清掃	床	部分水拭き	汚れ、水滴などが付着した部分をモップで拭く。
------	---	-------	------------------------

## 2. 3 ごみ収集

ごみ収集作業の内容は2. 3. 1表による。

2. 3. 1表 ごみ収集作業

作業対象	作業項目	作業内容
運搬	1 中継所から集積所までの運搬	ごみの中継所に集められた塵芥・厨芥などを区別して運搬する。
	2 各部屋から集積所までの運搬	各場所で集められた塵芥・厨芥などを区別して運搬する。
中間処理	1 分別 2 梱包	集められたごみを種類ごとに分別する。 集められたごみを適量な分量に梱包する。

## 2. 4 作業項目及び周期

### 1 床の清掃

床の清掃の場所別の作業項目及び周期は特記による。特記がない場合は2. 4. 1表による。

2. 4. 1表 床の清掃の作業項目及び周期

		1	2	3	4	5	6	7	8	9
		玄関 ホール	事務室 ・ 監視室	会議室 ・ 水質分析室 (日常のみ)	廊下	便所、 脱衣室 ・ シャワー室	湯沸かし室	階段	休憩室 ・ 更衣室	エレベーター
作業対象	作業項目									
1. 弾性床	日常清掃	/	1. 除塵 1.1自在箒・フロアダスター 1.2 真空掃除機 2. 水拭き 2.1部分水拭き 2.2 全面水拭き	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日
	定期清掃		1. 洗浄 1.1表面洗浄	1/6月	1/6月	1/6月	1/6月	1/6月	1/6月	1/6月
2. 硬質床	日常清掃	隔日	/	/	/	/	/	/	/	/
	定期清掃	隔日	1. 洗浄 1.1表面洗浄	1/6月	/	/	/	/	/	/
3. 繊維床	日常清掃	/	1. 除塵 1.1 自在箒	/	/	/	/	/	/	/
	定期清掃	/	1. 洗浄 1.1表面洗浄	/	/	/	/	/	/	/

4. 畳床	日常清掃	1. 除塵 1.1 自在箒 1.2 真空掃除機	/	/	/	/	/	/	/	隔日	/
	定期清掃	1. 表面洗浄	/	/	/	/	/	/	/	1/6月	/

## 2 床以外の清掃

場所別の床以外の清掃作業における作業項目及び周期は特記による。

特記がない場合は、2.4.2表による。

2.4.2表 床以外の清掃の作業項目及び周期

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		玄 関 ホー	事務室 ・ 監視室	会議室 ・ 水 質 分析室 (日常 のみ)	廊 下	便所、 脱衣室 ・ シャ ワー室	湯沸か し室	階 段	休憩室 ・ 更衣室	エレベ ーター	
作業対象	作業項目										
壁	定期	1. 部分拭き	2/月	/	/	2/月	2/月	2/月	2/月	/	/
		2. 除塵	1/月	/	/	1/月	1/月	1/月	1/月	/	/
フロアマット	日常	1. 除塵	隔日	/	/	/	/	/	/	/	
	定期	2. 洗浄	1/月	/	/	/	/	/	/	/	
扉ガラス	日常	1. 部分拭き	隔日	/	/	/	/	/	/	/	
	定期	2. 全面洗浄	2/年	2/年	2/年	2/年	2/年	2/年	2/年	2/年	
什器備品	日常	1. 除塵	隔日	/	/	/	/	/	/	/	
	定期	2. 拭き	1/月	/	/	/	/	/	/	/	
ごみ箱	日 常 清 掃	1. ごみ収集	隔日	隔日	隔日	隔日	隔日	/	隔日	/	
金属部分		1. 除塵	隔日	/	/	/	/	/	/	/	
扉及び便所へだて		1. 部分拭き	/	/	/	/	隔日	/	/	/	
洗面台		1. 拭き	/	/	/	/	隔日	/	隔日	/	
鏡		1. 拭き	/	/	/	/	隔日	/	隔日	/	
衛生陶器		1. 洗浄	/	/	/	/	隔日	/	/	/	
衛生消耗品		1. 補充	/	/	/	/	隔日	/	/	/	
汚物容器		1. 汚物収集	/	/	/	/	隔日	/	/	/	
流し台		1. 洗浄	/	/	/	/	/	隔日	/	/	
厨芥収集		1. 厨芥収集	/	/	/	/	/	隔日	/	/	
手摺り		1. 拭き	/	/	/	/	/	/	隔日	/	
壁・扉・操作盤		1. 部分拭き	/	/	/	/	/	/	/	/	隔日
扉溝		1. 除塵	/	/	/	/	/	/	/	/	隔日

※ ごみ収集作業における中間処理は特記による。

### 3 追加清掃

場所別の追加清掃の作業項目及び周期は特記による。特記がない場合は2.4.3表による。

2.4.3表 追加清掃の作業項目及び周期

		1 玄関 ホール	2 事務室 ・ 監視室	3 会議室 ・ 水質分析室 (日常のみ)	4 廊下	5 便所、 脱衣室 ・ シャワー室	6 湯沸かし室	7 階段	8 休憩室 ・ 更衣室	9 エレベーター
作業対象	作業項目									
床 弾性床・硬質床	1. 部分水拭き	隔日	/	/	/	隔日	隔日	/	/	隔日
洗面台	1. 拭き	/	/	/	/	隔日	/	/	/	/
鏡	1. 拭き	/	/	/	/	隔日	/	/	/	/
衛生陶器	1. 洗浄	/	/	/	/	隔日	/	/	/	/

## 第3章 建物外部の清掃

### 3.1 窓ガラス

#### 1 作業内容

清掃作業の内容は3.1.1表による。

3.1.1表 窓ガラスの清掃作業

作業項目	作業内容
1. 洗浄	1. ガラス面に適正に希釈した中性洗剤を塗布し、汚れを除去して、ガラススクイージーで汚水を切る。 2. ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 3. ガラス周りのサッシをタオルで清拭する。 ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。

※ 熱線反射ガラスは、金属皮膜が施されているので、ウインドハクジーなどでキズをつけないよう操作するとともに、微粉塵によってもキズがつくおそれがあるので、水又は洗浄液を十分に塗布してからスクイージーを行う。また、金属皮膜は、強酸性洗浄材や強アルカリ性洗浄材に影響を受けるので、水又は中性洗剤を使用する。

なお、飛散防止等を目的としてガラス面にフィルムが貼られている場合も、同様に行う。

#### 2 作業周期

特記による。特記がない場合は年2回とする。

### 3. 2 外部建具

#### 1 適用範囲

外部建具のうちアルミニウム製建具に適用する。

#### 2 作業内容

清掃作業の内容は3. 2. 1表による。

3. 2. 1表 アルミニウム製外部建具の清掃作業

区 分	作 業 項 目	作 業 内 容
通常の汚れ	洗 浄	1. 刷毛又は真空掃除機等で建具の表面や溝の除塵をする。 2. 中性洗剤を用いて汚れを除去して汚水を拭き取る。 3. 水拭きを行い、空拭きして仕上げる。
著しい汚れ	洗 浄	1. 刷毛又は真空掃除機等で建具の表面や溝の除塵をする。 2. 専用洗剤を用いて汚れを磨き洗いして除去し、汚水を拭き取る。 3. 水拭きを行い、空拭きして仕上げる。

#### 3 作業周期

通常の汚れに対する清掃作業の周期は特記による。特記がない場合は年1回としガラスの清掃時に実施する。また、著しい汚れに対する清掃作業の周期は特記による。

### 3. 3 建物周囲

#### 1 玄関周り

清掃作業の内容は3. 3. 1表による。作業周期は特記による。特記がない場合は二日に1回(隔日)とし、洗浄は月1回とする。

3. 3. 1表 玄関周りの清掃作業

区 分	作 業 項 目	作 業 内 容
床	1. 除塵 2. 水拭き 3. 洗浄	自在箒で塵芥を集める。 汚れた部分をモップで拭く。 洗浄用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗浄する。

#### 2 犬走り

清掃作業の内容は3. 3. 2表による。作業周期は特記による。特記がない場合は二日に1回(隔日)とする。

3. 3. 2表 犬走りの清掃作業

区 分	作 業 項 目	作 業 内 容
床	拾い掃き	巡回して粗ごみを拾う。

#### 3 構内通路

清掃作業の内容は3. 3. 3表による。作業周期は特記による。特記がない場合は二日に1回(隔日)とする。

3. 3. 3表 構内通路の清掃作業

区 分	作 業 項 目	作 業 内 容
床	拾い掃き	巡回して粗ごみを拾う。

#### 4 車庫・駐車場

清掃作業の内容は3.3.4表による。作業周期は特記による。特記がない場合は二日に1回(隔日)とする。

3.3.4表 車庫・駐車場の清掃作業

区 分	作 業 項 目	作 業 内 容
床	拾い掃き	巡回して粗ごみを拾う。